2023年12月15日(No15/1) 発行責任者/大谷 清 編集責任者/和田 庄平

## 「ダイヤ改正等」経営協議会を開催

## ダイヤ改正のポイント

- ○土讃線・高徳線・徳島線でのデータイムのパターンダイヤ実施による 利便性向上
- ○特急「南風」指定席数拡大による収入向上
- ○ご利用状況を鑑み、高松都市圏の列車削減 ワンマン列車等の拡大等効率的な輸送体系構築(詳細は別紙1参照)

## 2024年3月16日(土) ダイヤ改正を実施

JR四国労組は、12月12日に開催された経営協議会において「2024年春ダイヤ改正」について説明を受けるとともに、11月24日付発第41号「ダイヤ改正実施に伴う経営協議会の付議事項」について会社側から回答が示され、これらについて協議を行った。

### 【発第41号 ダイヤ改正実施に伴う経営協議会の付議事項について】

1 本年3月に実施した一部ダイヤ改正後の線区ごとの鉄道輸送量状況を明らかに するとともに、輸送需要に応じた適正な列車運行体系のあり方及び考え方につい て明らかにされたい。

収入については、「取扱収入実績及び純収入実績の最近の動向について(<u>別紙2</u>参照)」の通りです。

鉄道運輸収入(純収入)について、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、経済正常化に向けた動きが出てきたことから需要が回復しました。また、5月の運賃・料金改定をはじめとする単価アップの諸施策により、10 月までの定期外収入は前年比134.9%と大きく上回り、平年(2019 年)比91.6%と平年の約9割強まで回復しました。収入を方面別に見ると、本州から四国へのご利用「他社発売・四国関連」が運賃改定の効果もあり平年と同水準まで回復している一方、四国内や四国から本州方面へのご利用「自社完結」「四国発売・他社関連」は運賃改定の効果を含めても平年水準まで戻らない状況です。

定期収入は運賃・料金改定を実施したことから、前年比111.0%、平年比97.8%となりましたが、定期ご利用者は平年の9割程度で推移しており、それ以上の回復が見られない状況です。

全体では対計画105.1%と計画を約6億円強上回っています。

#### 純収入(10 月累計)

対前年 129.6% (+2,998 百万円) 対2019 年 92.6% (△1,046 百万円)

対計画 105.1% (+641 百万円)

2023年12月15日(No15/2) 発行責任者/大谷 清 編集責任者/和田 庄平

#### 運輸取扱収入(12 月速報値)

対前年 124.5% (+112 百万円) 対2019 年 86.7% (△88 百万円)

2023 年春ダイヤ改正以降の線区別輸送量は、新型コロナウイルス感染症が5月に感染症法5類に移行したこと等行動制限が撤廃されたこと、NHK連続テレビ小説「らんまん」やインバウンドが回復基調にあること等の効果もあり、主要線区、四国全体ともに前年を上回り、上半期については、四国全体としては対前年比107.6 パーセントという結果となりました。下半期も引続き前年ベース以上で推移しています。

しかし、2016年比では8~9割程度、とりわけビジネス利用の多い「しおかぜ」では8割程度のご利用に留まっています。今後も2016年水準までのご利用回復は見込めず、加えて要員不足も予想されることから、引き続き省力化・省人化施策、各線区の輸送需要に適した列車運行体系の構築を推進していかなければなりません。

#### 【線区別輸送実績比較】

(単位:%)

	【同日比較】	上半	⊭期	10	月	11月		
	【问口比较】	対前年	対 2016	対前年	対 2016	対前年	対 2016	
	瀬戸大橋	123.9	87.3	113.4	90. 7	110.7	90.8	
特	予讃線(タト~ミシ)	126.6	78. 1	113.6	81.8	108.5	81.2	
急	土讃線(タト~イケ)	126. 2	86.4	119.1	88.8	106.5	86.8	
	高徳線(カマ~トク)	115.9	83.7	109.3	86.3	103.0	83.3	
普通	四国全体	107.6	83.2	104.3	84.8	103.7	83.3	

今後の列車運行体系については、新幹線フィーダーとしての本四直通列車の接続を基本とした都市間輸送体系を維持するとともに、パターンダイヤの導入、お客様の利便性と効率性を両立させた都市圏輸送の充実を図ります。また、タクトダイヤの概念を推進していく等、バス等他モードとの連携を図ることで輸送需要の拡大を目指します。

一方で、需給ギャップ解消のために列車の適正化を図るとともに、ワンマン列車化の 更なる推進、乗務員運用・車両運用の効率化により要員削減を目指します。また、ご利 用状況に応じたきめ細やかな増結、減車の実施による編成両数の適正化等に引き続き努 めていきます。

2 アシストマルスの拡大やスマートえきちゃんの本格導入によって、非対面でのきっぷの販売や運賃収受が一層浸透していくことが期待される。お客さまとの対面で接客する機会が比較的少ない早朝・深夜時間帯については、窓口営業時間のさらなる適正化を進めることで、要員の確保や働きやすい作業ダイヤの設定につながると考えられる。今後の非対面販売強化に関する方策及び窓口営業時間の適正化について、会社の考え方を明らかにされたい。

アシストマルスやチケットアプリ導入等により省力化・省人化とサービス水準の維持・向上の両立を目指しています。

引き続き、お客様にアシストマルスやチケットアプリの利便性等を訴求し、利用促

2023年12月15日(No15/3) 発行責任者/大谷 清 編集責任者/和田 庄平

進・定着化に努めます。なお、取組みの一環として、今春から通学定期券の一括発売は、学校側の理解を得ながら磁気定期券からチケットアプリヘシフトし、新規発売・更 新時の窓口対応を減らすことにより駅の負担軽減を図ります。

現在、要員の確保や働きやすい作業ダイヤの設定に向けて、アシストマルス導入拡大とそれに伴う早朝・深夜時間帯における窓口営業時間の適正化について、具体案を検討しております。

3 信用降車型ワンマン列車は、順次運行区間が拡大され、2025年春には特急 宇和海の一部区間(八幡浜〜宇和島駅間)においてもワンマン運転が導入される 予定である。これらの施策による要員等に対する効果がある一方、安全運行や確 実な運賃収受には課題が残されていると認識する。現在運行中の区間を含め、設 備改良の実績を明らかにするとともに、お客さまのご利用実績及び導入による効 果、今後の展望を明らかにされたい。

次期ダイヤ改正では、既に信用降車型ワンマン運転を導入している地区において、信用降車型ワンマン列車本数を拡大します。(予讃線2 本増、高徳線1 本増、徳島線8 本増)また、予土線で実施中の従来型ワンマン列車(後部解放)について、予讃線八幡浜~宇和島駅間に拡大し、朝時間帯1本実施します。一方、予土線で実施中の対象列車については、利用者減少のため1両での従来型ワンマンとします。なお、予讃線での実施にあたり、一部駅にてワンマンミラーや停止位置目標等の地上設備の新設、変更を行います。

特急宇和海の一部ワンマン運転については、2025 年春の導入に向け、2025 年 1 月からはワンマン運行の試行を実施予定であり、以下の車両及び地上設備の改修を進めています。

対象	改修内容	記事
車両	防犯カメラ	各車両客室内に整備
	非常通報装置	トイレ内に追加整備
	乗降促進装置	乗務員室内の運転台に、ボタンを押すとチャイ
		ムと定型文放送が流れる乗降促進装置を整備
	自動放送	ワンマン放送及び英語放送を追加
地上設備	ミラーの取替	3、4 両編成の列車は ITV でホーム監視を行う
	ITV の整備	ため、関係する4駅(八幡浜、卯之町、伊予吉
		田、宇和島)にITV を整備 2 両編成の列車は一
		部駅(卯之町駅、宇和島駅)でミラーによるホ
		一ム監視を行うため、関係するミラーを曲率の
		大きいミラーとし視認性向上を図る
	停止位置目標の変更	工事に伴って建植位置を左右統一することで停
		止位置誤りのリスクを低減する誤った停止位置
		に停車しても、ホーム外れが発生しない位置へ
		変更しリスクを低減する
	誤出発防止 ATS の整備	ワンマン運転の発車位置に整備する
	点字ブロックの整備	特急が停車する位置に、少なくとも1両分は点
		字ブロックが設置されているように増設する
	きっぷ・運賃入れ、	運賃収受に関する営業設備を整備し、モラル維
	監視用カメラの整備	持及び運賃ほ脱防止を図る

2023年12月15日(No15/4) 発行責任者/大谷 清 編集責任者/和田 庄平

なお、特急宇和海のお客様のご利用実績では、2022 年度の乗車数は2001 年度の約4割となっており、このうち一部ワンマン運転を計画する区間では平均乗車人員25 名程度[乗車率18%]、最大65 名程度[乗車率32%](2022 年度ノリホ実績)です。導入効果としては、車掌の要員削減による需給改善や人件費削減を見込んでいます。

人口減少に伴う鉄道事業の市場縮小や人手不足等、当社を取り巻く経営環境は変化しており、コロナ禍を契機として更に加速しています。こういった状況を踏まえ、当社が持続的に安全・安定輸送を提供していくため、更に従業員が働きやすい環境を整えていくため、ワンマン化の拡大等、省力化・省人化を進め乗務員需給の改善、及び収支改善を図る必要があると考えています。

#### (参考)

現在運行中の松山地区(予讃線:伊予西条~松山)の信用降車型ワンマン導入時の設備改良

対象	改修内容	記事
車両	ワンマン表示器の改修	信用降車時にワンマン表示しない
	放送装置の改修	信用降車用の放送文を追加する
	非常通報装置増設	2End 側に追加する(現行は 1End 側のみ)
	ドア開閉案内の整備	ドア開閉時期をランプと音でお知らせする
地上設備	ミラーの取替	曲率の大きいミラーに統一し視認性向上を図る
	ITV の整備	│曲線ホームのドア閉時の視認性確保のため、波│
		止浜駅、波方駅、菊間駅には ITV を整備する。
		(波方駅は発車時においても使用)
	停止位置目標の変更	「ワンマン」停止位置目標を撤去し、後部1両
		がホームから外れない位置に「2」等を設置す
		るとともに、施工する際は建植位置を左右統一
		することで停止位置誤りのリスクを低減する
	誤出発防止 ATS の整備	信用降車型ワンマン運転の発車位置に整備する
	支障物の移設、撤去等	ミラーの視認性に影響のある乗り場案内表示や
		中継信号機、出発反応標識の移設等を実施し、
		視認性向上を図る
	きっぷ・運賃入れ、	運賃収受に関する営業設備を整備し、モラル維
	監視用カメラの整備	持及び運賃ほ脱防止を図る

なお、7000 系車両での信用降車型ワンマンの実施にあたり、運賃箱との間が狭く通り難いとの意見があったため、運賃箱の展開角度を拡大するための改良を試行しています。

4 適正な運転時分、停車時分及び集札時間について、昨年の経営協議会では「お客様の多い時間帯や運転方式に応じて余裕時分を確保し、無理のないダイヤ設定に努めている」との回答があった。次期ダイヤ改正と同時に駅の無人化が実施されることを踏まえ、当該駅における停車時分等の設定について会社の考え方を明らかにされたい。また、無人駅の拡大により負担となる集札業務のあり方について、会社の考え方を明らかにされたい。

2023年12月15日(No15/5) 発行責任者/大谷 清 編集責任者/和田 庄平

次期ダイヤ改正において、無人化となる駅のうち、学校最寄り駅で朝通学時間帯のお客様の降車が集中する列車について、可能な限り停車時分を付加します。

集札業務の在り方については、特急列車では車掌による車内改札が定着したことから、業務負担軽減や列車遅延防止等を目的として、2023 年12 月22 日より、特急しおかぜ・いしづちにおいて無人駅での車掌集札の省略を試行的に実施します(※)。以降、試行の状況を踏まえ、他特急列車への拡大を検討していく予定です。

※詳細は別紙3参照

5 業務に係る拘束時間の短縮は、心身の負担を軽減するために最も重要であり働き方改革や仕事の魅力向上につながるものと考える。特に乗務員の行路拘束時間の短縮については、様々な場で協議を続けてきたが、本年9月の交渉において「あるべき輸送体系を確立したうえで、乗務員の効率的な勤務体系について勉強を進める」旨の回答を受けた。具体的な展望について会社の考え方を明らかにされたい。

将来に向けて、パターンダイヤの拡大等により乗務員運用のシンプル化を図ることや 乗務員勤務制度の在り方について見直しを図ること等により、働きやすさを意識した乗 務効率の高い勤務体系を目指したいと考えています。

なお、次期ダイヤ改正に向けては、伊予西条駅における特急しおかぜ・いしづちの分割運用の本数を拡大する等、限られた列車本数と定められたルールに従い、働きやすさ や乗務効率、拘束時間短縮等を意識のうえ、行路作成作業を進めています。

6 乗務員の効率的な運用のために導入された「運転士による車掌業務の兼掌」について、導入による効果と今後の見通しに対する会社の考え方を明らかにされたい

車掌の運用効率向上を目的に、運転士が一部の列車に車掌として乗務するものであり、要員削減までには至っていませんが、車掌の拘束時間削減や朝時間帯の出面削減に 寄与する重要な施策であると考えています。

一方、限定された一部の列車での実施となっていることから、輸送体系を含め今後の 在り方について検討を行っていきます。

7 育児や介護、治療をしながら勤務する組合員からは安心して働ける多様な働き 方の実現と職域の拡大が求められるものの、現行の作業ダイヤでは対応しきれな い状況であると考える。課題解決に向けた会社の取り組みや考え方を明らかにさ れたい。

多様な働き方の実現や職域の拡大に向けては、これまで乗務員の日勤行路設定などの取組みを行うとともに、仕事と家庭の両立を図るための制度面の充実や、休職から復帰する社員に対しては、本人の家庭環境等を勘案しながら一定の配慮を行ってきました。

一方、子育て世代の社員が増加していることなどもあり、更なる多様な働き方の実現 や職域の拡大についての課題認識は持っておりますが、鉄道業務の特性や現在の厳しい 要員事情等を勘案すると、直ちに抜本的な改善を図ることは難しい状況です。

2023年12月15日(No15/6)発行責任者/大谷 清 編集責任者/和田 庄平

今後も中期経営計画に掲げている省力化施策の実施等に合わせて、より働きやすい勤務や職域の拡大が図れるよう、主管部とも連携して検討を進めるとともに、制度面や支援体制の充実に向けても引き続き検討してまいります。

8 列車が安全に定時運行するためには線路沿線の環境整備が重要であると考える。 倒木や倒竹、獣害、空転・滑走による輸送障害を未然に防止するための対策及び 計画について会社の考え方を明らかにされたい。あわせて、空転・滑走等を防止 するために鉄道総研と共同で調査・研究を行っているが、成果や今後の見通しを 明らかにされたい。

倒木や倒竹の対策については、岩斜面に生えている樹木、枯れ木など優先順位を決めて順次計画的に伐採しています。また、乗務員から申告があれば、可能な範囲で速やかに伐採等対応を行うこととしています。

動物等との衝撃防止対策については、鹿や猪の出没箇所が従前より変化していることに伴い徳島線・牟岐線において徐行箇所の見直しを図り、ダイヤ影響を鑑みながら、駅間全区間での徐行運転を試行しました。また、2023 年度から動物衝突多発箇所に獣害防止フェンスを設置する工事を行っており、土讃線と徳島線の複数箇所に設置しました。結果、2023 年度上期においては、動物との衝撃件数は減少傾向にあります。しかしながら、依然として野生動物が市街地へ出没したという情報、列車と動物との衝撃が無くならないことから、徐行時間や徐行箇所の再検討と継続的な獣害防止フェンス設置に努めてまいります。

空転・滑走の対策として、効果的な順に言えば、①抜本的には沿線樹木を伐採し、空転・滑走の要因となる黒色被膜(落葉に起因して形成されるもの)をレール踏面に形成させないこと、②レール踏面に形成した黒色被膜を除去すること、③中継信号機やATSロング地上子を増設し、運転士のブレーキ開始時機を早めて強いブレーキをしないようにすること、④要注意区間を徐行して強いブレーキをしないようにすること、と考えています。

また、空転・滑走や徐行による遅延が発生した場合には指令員が遅延状況を乗務員に周知するなど情報共有を実施しています。

なお、鉄道総研と共同で行う調査では、黒色被膜をレール面に形成させない手法の解明には至っていないものの、レール面に形成された黒色被膜の除去にはクエン酸が有効であることが判明しました。現在、クエン酸を用いた黒色被膜除去の実用化に向けた調査研究を行っているところですが、課題が多く実用化の目処は立っていません。

9 本年10月、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が一部改正され、各地でローカル線のあり方についての議論がさらに本格化すると考えられる。四国地域においては、既に「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会II」や各県分科会等で議論されているところであるが、今後の見通しや将来像について会社の考え方を明らかにされたい。

当社では、2020 年3 月の国の行政指導に基づき、地域の関係者と一体で「5カ年推進計画」を策定し、ネット懇 II の県別会議と連携しながら、利便性向上や利用促進等の取

#### 2023年12月15日(No15/7終)発行責任者/大谷 清 編集責任者/和田 庄平

組、あるべき交通体系の検討等を進めています。なお、2025 年度には「5カ年推進計画」の総括検証と事業の抜本的な改善方策の検討が求められていることから、地域公共交通活性化再生法の改正等も踏まえ、地域の関係者と一体で将来のあるべき交通体系の構築に向けた

建設的な議論・検討を行っていきたいと考えています。

#### 〈主なやりとり〉

- 組合: 牟岐線において、最高運転速度等の見直しにより、省力化が図られるとあるが、どういった内容か。
- 会社:線路等級が引き下げられることにより、徒歩巡回の負担半減や、マルタイに よる補修作業頻度の低下等が期待できる。お客様の利便性等も踏まえつつ、 可能なことから取り組んでいく。
- 組合:高知地区の観光列車のダイヤ変更により、香川地区から送り込んでいるアテンダントについては、前泊が発生するため、臨時列車等が増加すると勤務行 路等が長期間となる点を懸念する。
- 会社:観光列車は、インバウンドを含め、営業施策の目玉であり、団体臨時列車も 運行していきたい。一方で、限られた要員状況であることから、現場の声も 踏まえつつ、団体列車の受け入れ本数を制限するなど調整している。高知地 区での契約社員の確保などと並行しつつ、可能な範囲で運行を行い、勤務行 路等が長期間化しないよう努める。
- 組合:車掌の集札省略について従前より訴えてきた施策が形になったとの認識。普通列車等も含めて今後も展開されたい。 今後、パターンダイヤの定着が見込まれるのであれば、乗務員の運用等についても、各エリアで分担するほうが、異常時の対応等メリットがあるのでは。
- 会社:集札省略は、繁忙期を含めて、予讃線の特急列車で試行する。この試行を踏まえ、他線区の特急列車への展開を想定している。 今回の改正では、伊予西条駅で乗り継ぐ列車本数を拡大した。一方で、ロング乗務を分割することにより、乗務効率の低下により要員への影響も招く可能性があるため、今後も勉強を続ける。
- 組合:今月に入り車掌兼務が更に増えると聞いた。車掌兼務については、縮小の方向で認識しており、組合員からも収入・モチベーション低下を危惧する声がある。昨今続く離職状況とあわせ、どのように受け止めているか。
- 会社:従前の想定よりも採用難・離職増により要員需給が悪化しているため今回の 実施となった。収入面の影響については、できるだけ兼務が短期間で終わら せるようにする等配慮していく。離職については、四国外含め、地元に帰る ケースがやはり多い。対策として今回の施策の様に要員を削り、少しでも働 き方を楽にすることと、職場内のコミュニティに巻き込むことが重要と考え ており、現場長ともそういった観点で意思疎通を行うよう指導している。

ダイヤ改正に関する協議を終えた後、11月30日に発生した「今治駅高架橋からの面木落下」について協議を行い、原因の究明と再発防止を求めた。

JR四国労組は、安全・安定輸送の確立が最重要課題であるとの認識のもと、引き続き会社に対する「チェック・提言機能」強化の運動を展開する。

#### 2024年春ダイヤ改正について

2023年12月 J R 四 国

2024年春のJRグループダイヤ改正では、土讃線・高徳線・徳島線でのデータイムのパターンダイヤ実施による利便性向上、特急「南風」指定席数拡大による収入の向上を図る。

一方で、ご利用状況から高松都市圏の列車削減、ワンマン列車等の拡大による要員の削減など、効率的な輸送体系構築に向けたダイヤ改正を 2024年3月16日(土)に実施する。

## 主な改正内容

- 1. 【土讃線】 あしずり(高知~窪川)、普通列車(高知~伊野)パターンダイヤ化
- 2. 【高徳線】 うずしお(高松~徳島、直通うずしお除く)、普通列車(高松~引田)パターンダイヤ化
- 3. 【徳島線】 パターンダイヤの設定変更、徳島駅 9 時以降の発車時刻の統一
- 4. 【十讃線】 南風の指定席拡大、特急「しまんと8号」の始発駅を変更
- 5. 【高徳線・牟岐線・徳島線】 タクトダイヤ実施、徳島駅での直通運転を重視した車両運用、むろと予定臨時列車化、 線区における最高運転速度等の見直し
- 6. ワンマン・信用降車型ワンマン列車等拡大による車掌要員削減
- 7. 牟岐線、徳島線における動物支障回避徐行拡大
- 8. 駅無人化に合わせ、対象駅における降車の多い列車に停車時間を追加付与
- 9. 一部特急列車における車いす対応席の設置
- 10. 観光列車の設定変更
- 11. ご利用状況に応じて、特急列車・普通列車の運転取り止め、行き先の変更、最終列車の時刻繰り上げを実施

### 1. 【土讃線】あしずり(高知~窪川)、普通列車(高知~伊野)パターンダイヤ化

- 「高知~伊野駅間」で11時~15時台に運転する普通列車の発車時刻を概ね統一し、分かりやすくご利用しやすいダイヤとする。
- 「高知~伊野駅間」で普通列車を2本増発、「高知~須崎駅間」で普通列車を1本増発し、利便性向上を図る。

赤枠=パターン時間帯(11時~15時台)、赤文字=特急列車、黒=普通列車、橙=観光列車



■ 特急「あしずり 5 号・10号」が旭駅・朝倉駅に停車する。 パターン時間帯における特急「あしずり」の「高知〜窪川駅間」の停車駅を統一し、発車時刻を概ね揃える。

「高知~窪川駅間」停車駅:旭・朝倉・伊野・佐川・須崎・土佐久礼

列車		発車時刻		到着時刻
あしずり 5 号	高知駅	旭駅	朝倉駅	窪川駅
めしりりり万	13時49分	13時53分	13時57分	14時57分
あしずり10号	窪川駅	朝倉駅	旭駅	高知駅
めしりり10万	13時56分	14時58分	15時01分	15時05分

### うずしお(髙松~徳島、直通うずしお除く)、普通列車(髙松~引田)パターンダイヤ化

- 「高松~引田駅間」で10時~16時台の発車時刻を概ね統一し、分かりやすくご利用しやすいダイヤとする。
- 普通列車は毎時1本パターン(高松~三本松・引田)に加え、2時間に1本パターン(高松~オレンジタウン)を運転する。

赤枠=パターン時間帯(10時~16時台)、赤文字=特急列車、背景灰=岡山直通うずしお、黒=普通列車



■ 特急「うずしお」の停車駅を見直し、昼時間帯の「高松~徳島駅間」の停車駅を概ね統一する。 (岡山直通のうずしおを除く)

「高松~徳島駅間」停車駅: 栗林・屋島・志度・三本松・引田・板野・池谷 停車駅を通過とする特急列車 (6本)

駅	列車番号	愛称名	現行 発車時刻
	3009D	うずしお9号	10:36
3#./+\/./ <del>+</del> . □ E□	3010D	うずしお10号	11:06
讃岐津田駅	3018D	うずしお18号	15:04
	3019D	うずしお19号	15:35
11米 7世 田口	3016D	うずしお16号	13:30
勝瑞駅	3021D	うずしお21号	17:11

(黄背景=通過となる駅、◎:始発・終着駅、○:途中停車駅)

		高	栗	屋	志	オ	讃	三	讃	引	板	池	勝	徳
列車名	始発駅					レ	岐	-	岐					
(下り)	タロチョス					ン	津	本	白					
		松	林	島	度	ジ	田田	松	鳥	田	野	谷	瑞	島
うずしお1号	高松(6:08)	0	0	0	0	0		0		0	0		0	0
うずしお3号	高松(7:05)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うずしお5号	高松(8:24)	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0
うずしお7号	高松(9:10)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお9号	高松(10:10)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお11号	高松(11:10)	0	0	0	0			$\circ$		0	0	0		0
うずしお13号	岡山(11:05)	0	0		0			$\circ$			0			0
うずしお15号	高松(13:10)	0	0	0	0			$\circ$		0	0	0		0
うずしお17号	高松(14:10)	0	0	0	0			$\bigcirc$		0	0	0		0
うずしお19号	高松(15:10)	0	0	0	0			$\circ$		0	0	0		0
うずしお21号	高松(16:10)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお23号	高松(17:15)	0	0	0	0			$\circ$		0	0	0		0
うずしお25号	高松(18:13)	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0		0	0
うずしお27号	高松(19:17)	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0	0	0	0
うずしお29号	岡山(19:05)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお31号	高松(21:21)	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
うずしお33号	高松(22:22)	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0		0	0

(実行が、返過とよるが、〇・和元 下行が、〇・返十八十歳、														
列車名		高	栗	屋	志	オレ	讃岐	三	讃 岐	引	板	池	勝	徳
(上り)	始発駅					ン	津	本	白					
		松	林	島	度	ジ	田	松	鳥	田	野	谷	瑞	島
うずしお2号	徳島(5:41)	0	$\circ$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うずしお4号	徳島(6:58)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0
うずしお6号	徳島(8:23)	0	$\circ$	0	0			0	0		0	0	0	0
うずしお8号	徳島(9:15)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお10号	徳島(10:23)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお12号	徳島(11:23)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお14号	徳島(12:23)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお16号	徳島(13:23)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお18号	徳島(14:23)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお20号	徳島(15:23)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお22号	徳島(16:45)	0	0		0			0			0	0		0
うずしお24号	徳島(17:28)	0	0	0	0			0		0	0	0		0
うずしお26号	徳島(18:29)	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0
うずしお28号	徳島(19:32)	0	0	0	0			0	0	0	0		0	0
うずしお30号	徳島(20:35)	0	0	0	0			0		0	0		0	0
うずしお32号	徳島(22:00)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- 徳島駅の9時以降の発車時刻を概ね統一する。
  - また、「徳島~穴吹駅間」を9時~16時台に運転する普通列車の発車時刻を概ね統一し、分かりやすくご利用しやすいダイヤにする。
- 「徳島~穴吹駅間」で普通列車2本、「徳島~阿波川島駅間」で普通列車を1本増発し、利便性向上を図る。

赤枠=パターン時間帯(9時~16時台)、赤文字=特急列車、黒=普通列車、橙=観光列車

			特 (9)	時~16時台)、赤文字=特急列車	
駅	下	り	駅	<u>.</u>	り
\ \ \ \	現行	改正	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	現行	改正
徳島駅	「京吹」 阿波池田 方面    5	「京映 阿波池田 方面 5 6 6 33 45 7 20 8 12 9 0 22 52 52 10 22 35 52 11 22 52 12 12 12 14 22 52 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	阿波川島駅	では、   方面	徳島 方面
阿波川島駅		「京吹 阿波池田 方面  5 6 49  7 11 38 8 14 9 5 24 10 39 11 39 12 27 39 13 39 14 39 15 39 16 39 17 33 18 6 26 40 19 9 25 40 20 6 42 45 21 33 22 35 23 30	穴吹駅	徳島 方面	(徳島) 方面    5

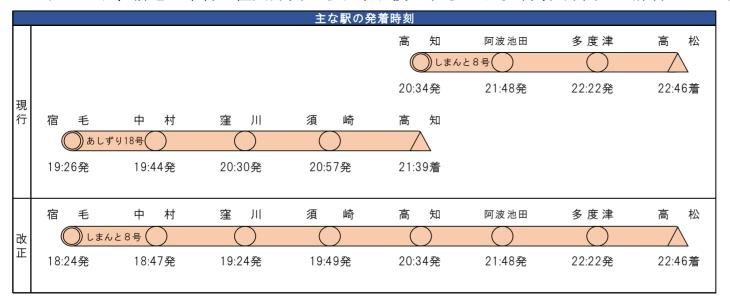
## 4. 【土讃線】 南風の指定席拡大、特急「しまんと8号」の始発駅を変更

- (1)特急「南風」の指定席数拡大
  - 特急「南風」の自由席の一部を指定席に変更する。 これにより、より多くのお客様にご予約・着席してご旅行いただけるようになる。

#### 【指定席を増やす特急列車】

	列車名	指定席数	自由席数
平日	南風 1 ~28号(28本)	60席→78席	
[ , n==	南風2・3・6・7・14・15・18・19・26・27号(10本)	106席→124席	
土曜	上記以外の南風(18本)	60席→78席	62席→44席
/ <del> </del>	南風 6・7・18・19号(4本)	106席→124席	
休日	上記以外の南風(24本)	60席→78席	

- (2)特急「しまんと8号」の始発駅を変更
  - 高知駅を20時34分に発車する特急「しまんと8号」の始発駅を宿毛駅に変更する。 これにより、宿毛・中村・窪川方面からお乗り換えすることなく高松方面へご旅行いただける。



### 5. 【高徳線・牟岐線・徳島線】

- (1) 徳島駅の到着・発車時間帯を統一し線区相互間の利便性を向上
- 徳島駅においてタクトダイヤ(※1)を設定し、どの線区へもご利用しやすくなる。

【パターン時間帯の徳島駅接続時刻(※2)】

	1)   1   1   1   1   1   1   1   1   1	· · ·	27///2 47/4	(/•\ \ \ \					
線区	着時刻		線区	発時刻	線区	着時刻		線区	発時刻
うずしお	16分	\	うずしお	23分			<b>4</b>	剣山	0分
高徳線	7分		徳島線	22分	牟岐線	42分		徳島線	52分
牟岐線	12分		高徳線	26分	鳴門線	44分		鳴門線	58分
徳島線	19分	<b>/</b> ¥	牟岐線	30分	徳島線	49分	/ ┪	牟岐線	0分

- ※1 複数の路線をパターン化してそれらが相互に接続するダイヤ
- ※2 時間帯によって到着・発車時刻が変更となる場合がある。
- (2) 徳島駅で各線区へ直通する列車を増加
- 高徳線・徳島線・鳴門線〜牟岐線の相互を直通する列車を11本から30本に19本増やし、 利便性向上を図る。
- (3) なると予定臨時列車化
- ご利用が低迷していることから、むろとを予定臨時列車とする。ただし、当面の間、 毎日運転を予定する。
- (4) 牟岐線の線区における最高運転速度等の見直し
- 省力化・省人化 (線路等級の変更を行うことで徒歩巡回の周期が延伸され要員数を減らせる効果等)を目的とし、最高運転速度等の見直しを行う。
  - ①最高速度110 k m/h→85 k m/h ②曲線通過速度 本則へ低減
  - ③注意信号45 k m/h 減速信号65 k m/h へ低減

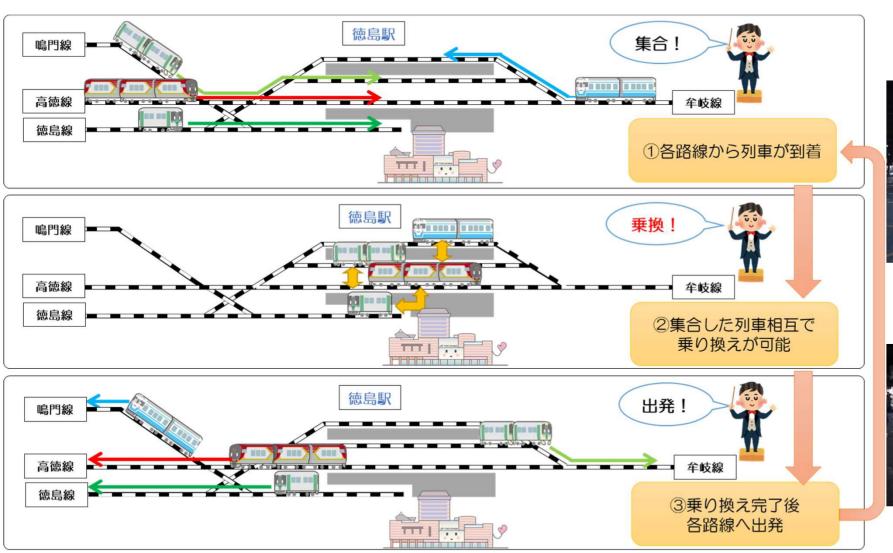
【徳島駅時刻(10時~12時)】

. –												
L	線区	始発駅	到着時刻	発車時刻	行先	線区						
I				10:00	阿南	牟岐線						
1	高徳線	板野	10:06									
	徳島線	阿波池田	10:09									
	牟岐線	阿南	10:12									
	特急「うずしお」	高松	10:16									
				10:22	阿波川島	徳島線						
H				10:23	高松	特急「うずしお」						
				10:26	板野	高徳線						
1				10:30	阿南	牟岐線						
	牟岐線	阿波海南	10:42									
	鳴門線	鳴門	10:44									
	徳島線	穴吹	10:49									
N				10:52	穴吹	徳島線						
				10:58	鳴門	鳴門線						
				11:00	阿南	牟岐線						
ĺ	牟岐線	阿南	11:12	6	NA77041 ESERVAS							
	徳島線	阿波川島	11:15									
	特急「うずしお」	高松	11:16									
ļ	_			11:22	阿波川島	徳島線						
				11:23	高松	特急「うずしお」						
				11:26	板野	高徳線						
				11:30	阿波海南	牟岐線						
l	牟岐線	阿南	11:42									
	特急「剣山」	阿波池田	11:43									
	鳴門線	鳴門	11:45									
	徳島線	阿波池田	11:51									
				11:52	阿波池田	徳島線						
				11:58	鳴門	鳴門線						
				12:00	阿波池田	特急「剣山」						
				12:00	阿南	牟岐線						
-												

## タクトダイヤとは

## 各路線のパターンダイヤを上手く接続する『タクトダイヤ』により各路線の乗り換え利便性を向上します!

- ※タクトはドイツ語で「指揮棒」
- ※指揮者のタクトに合わせて公共交通が連動しながら動くイメージ







- 乗務員需給の悪化が見込まれる状況を踏まえ、更なる効率化を目指し、ワンマン・信用降車型ワンマン等の対象列車拡大により車掌要員を削減する。
- (1) 新たにワンマン・信用降車型ワンマン等となる列車【線区別対象本数】

	合計	予讃線	土讃線	高徳線	牟岐線	徳島線
信用降車型ワンマン列車	11	2	-	1	-	8
ワンマン列車	22	5	8	3	4	2
従来型ワンマン(後部開放)	1	1	-	-	-	-
合計	33※	8	8	4	4	10

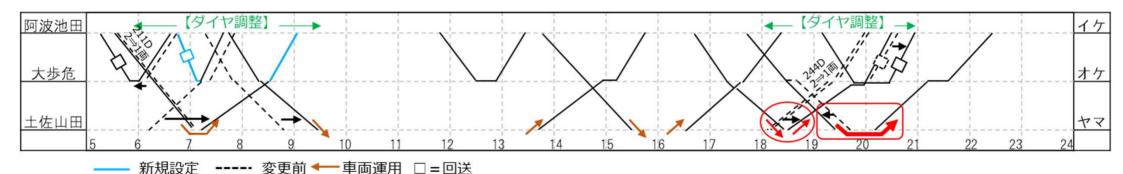
※区間によりワンマン、信用降車ワンマンが 異なる列車があるため合計値が異なる。

- (2) 従来型ワンマン(後部開放)実施区間拡大
- 予土線で実施中の従来型ワンマン列車(後部開放)を予讃線、八幡浜〜宇和島駅間に拡大し、朝時間帯1本列車で実施する。 一方予土線で実施中の対象列車は、利用者減少のため従来型ワンマン(1両)とする。

列車	発駅		着駅		平日	土曜	休日	記事
621D	八幡浜	6:15	宇和島	7:32	114	20	13	一部駅で後部車両のホーム外れが発生(双岩、卯之町) ご利用の多い区間は乗降数に応じた停車時分を確保(下宇和〜北宇和島) 一部駅にてワンマンミラー、停止位置目標等地上設備の新設、変更を行う 一部駅にて【後部締切】の停止位置目標を新たに設ける

○2023年4月10日~5月31日 (GW除く) 乗車実績 (1日平均)

- (3) 土讃線(阿波池田~十佐山田駅間)の普通列車設定
- 輸送量に段差のある「阿波池田〜土佐山田」駅間と「土佐山田〜高知」駅間で車両運用を可能な限り分離し、「阿波池田〜土佐山田駅間」はすべての普通列車で1両、ワンマンでの運転とする。



■ 動物支障が増加している状況を鑑み、夜間牟岐線、徳島線の一部区間において駅間全線徐行運転が可能なダイヤとする。 駅間全線で徐行運転が可能となる箇所

線区	区間	時間	記事		
牟岐線	阿波福井~由岐	19時30分以降	特急含む		
午収稼	日和佐~阿波海南	13時30万以降	付忌召召		
徳島線	川田~穴吹	20年以収	性色でノ		
1芯Б級	阿波半田~三加茂	20時以降	特急除く		

- 8. 駅無人化に合わせ、対象駅における降車の多い列車に停車時間を追加付与
  - 高校の最寄り駅で無人となる駅では、朝通学時間帯において高校生の降車が集中する列車について、停車時分を付加する。 対象駅:高瀬、旭、勝瑞、佐古、南小松島
- 9. 一部特急列車における車いす対応席の拡大
  - 8000系 L編成、南風2700系岡山方先頭車、うずしお2600系、2700系高松方先頭車に車イス対応席(指定)を設ける。
- 10. 観光列車の設定変更
- (1) 時代の夜明けのものがたりを約2時間前倒しシフト

	現	行	改正						
立志の抄	高知発	窪川着	高知発	窪川着					
<u>17</u> ,™0719	12:04	14:40	10:02	12:32					
開花の抄	窪川発	高知着	窪川発	高知着					
用化の分	15:13	17:53	13:10	16:07					

(2) ゆうゆうアンパンマンカー連結列車の変更

	現行	改正
高徳線	3009D	_
徳島線	4005D、4008D	4003D、4006D 4005D、4008D

※4006Dを約1時間前倒しシフト

11. ご利用状況に応じて、特急列車・普通列車の運転取り止め、行き先の変更、最終列車の時刻繰り上げを実施

#### 取扱収入実績及び純収入実績の最近の動向について

2022年 12 月 J R 四 国

#### 1 取扱収入実績(12月速報値)

2023 年度取扱収入(12 月速報値)は、12 月 6 日現在で 572 百万円、対前年 124.5%(+112 百万円)、対 2019 年 86.7%(△88 百万円)となっている。

(単位:百万円)

								· · · —						
	2023年度													
	11月実績	前年比	(2019年比)	12月実績	前年比	(2019年比)	累計	前年比	(2019年比)					
定期外	2, 415	118. 2%	(84.8%)	512	125. 4%	(84. 6%)	19, 456	130.3%	(84. 2%)					
定期	316	142. 1%	(138.8%)	60	116. 9%	(110. 1%)	3, 816	121.5%	(110. 1%)					
合 計	2, 732	120. 6%	(88.8%)	572	124. 5%	(86. 7%)	23, 272	128. 7%	(87. 6%)					

- ※11 月実績は速報値。
- ※12 月実績は12月6日現在の実績(速報値)。
- ※小数点以下四捨五入の関係で、合計が合わない場合あり。

#### 2 純収入実績(10月実績)

2023 年度鉄道運輸収入は、10 月末で 13, 110 百万円、対前年 129.6% (+2, 998 百万円)、対 2019 年 92.6% (△1, 047 百万円) となっている。

(単位:百万円)

	2019:	年度	2022	年度	2023年度											
	10月実績	累計	10月実績	累計	10月実績	前年比	(2019年比)	累計	前年比	(2019年比)	計画値	計画比				
自社完結	636	4, 781	527	3, 379	623	118. 2%	(98.0%)	4, 256	125. 9%	(89.0%)						
四国発売・他社関連	392	2, 769	295	1, 682	387	131. 2%	(98.6%)	2, 354	140.0%	(85.0%)						
他社発売・四国関連	536	3, 769	447	2, 626	595	133. 0%	(111.0%)	3, 759	143. 1%	(99. 7%)						
定期外	1, 564	11, 319	1, 269	7, 687	1, 605	126. 4%	(102.6%)	10, 369	134. 9%	(91.6%)	9, 923	105. 8%				
定期	379	2, 669	350	2, 353	418	119.6%	(110.3%)	2, 611	111.0%	(97. 8%)	2, 546	102. 5%				
合 計	1, 943	13, 988	1, 619	10, 040	2, 023	124. 9%	(104. 1%)	ı	_	( -)						
合計 (マルス前受含む)	2, 159	14, 157	1, 734	10, 112	2, 212	127. 6%	(102.5%)	13, 110	129. 6%	(92.6%)	12, 469	105. 1%				

※小数点以下四捨五入の関係で、合計が合わない場合あり。

近年、省力化・省人化を目的とした駅の無人化が進んでおり、車掌の集札に係る業務負担が増加してきている。 これまではご利用状況を考慮のうえ、必要により停車時分を確保してきたが、車掌集札の駅が増加する中、ダイヤ 設定上停車時分が十分に確保できない駅が発生していること、及び特急列車においては車掌による車内改札が定着し たことから、**予讃線特急しおかぜ・いしづちにおける無人駅での車掌集札等の一部省略について、以下のとおり試行 することとする。** 

なお、試行期間中の課題等を整理・解決のうえ、今後については他の特急列車に展開していくことを想定している。

### 1. 目 的

- ・車掌の働き方改善(車掌の業務負担軽減)
- ・車掌集札による列車遅延防止(安定輸送の提供、列車遅延による焦りからの事故リスクの低減)

### 2. 対象列車及び試行内容

### ①対象列車

特急しおかぜ、特急いしづち

### ②概要

- ・指定区間にて車内改札を実施し整理表でご利用状況が管理できている場合、集札を省略できる。
  - →お客様案内や異常時等により指定された区間での<u>車内改札が実施できない場合は、集札を実施</u>する。
  - →上りの伊予北条駅については、車内改札を行う時間が確保できないため、これまで通り車掌集札とする。
  - →駅到着放送にて、車掌集札を行わないこと、及び駅設置の「きっぷ・運賃入れ」へ入れてもらうことを案内する。
- ・下り特急しおかぜ(今治~松山)、上り特急いしづち(坂出~高松)での車掌の特急券回収を廃止する。

### 3. 試行時期

2023年12月22日(金)~当分の間

※お客様のご利用が多くなる「重点実施期間」にあわせて開始

#### 4. その他

- ・当面は試行的な実施とし、運賃・料金ほ脱が多数発生する等、大きな問題が発生した場合は中止する。
- ・試行的な実施において、大きな問題が発生しなかった場合、他線区の特急列車での実施を検討する。
- ・坂出駅、観音寺駅には簡易的な「きっぷ入れ」を設置する。

## 予讃線特急しおかぜ・いしづちにおける車掌集札の見直しについて【試行】

## 5. 集札省略の条件等

- ・駅集札がない駅の前に指定された区間にて車内改札を実施した場合、集札を省略することができる。
- ・業務都合により、駅集札がない駅の前に指定された区間にて車内改札が実施できなかった場合、基本、集札を実施する。
- ・車内改札については、整理表に記載されていない(管理できていない)お客様を対象に実施する。
- ・これまでと同様に、車内改札時、回数券には必ず入鋏を行う。
- ・集札省略と同様の扱いにより、特急券回収を省略する。

【下り:特急しおかぜ・いしづち号】

駅・駅間	実施内容
始発:岡山・高松	_
高松~坂出	車内改札実施(整理表管理)
★坂 出(駅集札なし)	集札省略可
児島~宇多津	車内改札実施(整理表管理)
★宇多津(駅集札なし)	集札省略可
★詫 間(駅集札なし)	集札省略可
★高 瀬(駅集札なし)	集札省略可
★観音寺(駅集札なし)	集札省略可
観音寺~川之江	車内改札実施(整理表管理)
★川之江(駅集札なし)	集札省略可
★伊予三島(駅集札なし)	集札省略可
伊予西条~壬生川	車内改札実施(整理表管理)
★壬生川(駅集札なし)	集札省略可
今治~伊予北条	車内改札実施(整理表管理)
★伊予北条(駅集札なし)	集札省略可
※今治~松山	<b>&lt;特急券回収省略可&gt;</b>
終点:松 山	_

【上り:特急しおかぜ・いしづち号】

【上り:特急しおかぜ・いしづ	5号】
駅・駅間	実施内容
始発:松山	_
★伊予北条(駅集札なし)	車掌集札必須
伊予北条~今治	車内改札実施(整理表管理)
★壬生川(駅集札なし)	集札省略可
新居浜~伊予三島	車内改札実施(整理表管理)
★伊予三島(駅集札なし)	集札省略可
★川之江(駅集札なし)	集札省略可
川之江~観音寺	車内改札実施(整理表管理)
★観音寺(駅集札なし)	集札省略可
★高 瀬(駅集札なし)	集札省略可
★詫 間(駅集札なし)	集札省略可
★宇多津(駅集札なし)	集札省略可
宇多津~児島	車内改札実施(整理表管理)
終点:岡山	_
坂出~高松	車内改札実施(整理表管理)
※坂出~高松	<b>&lt;特急券回収省略可&gt;</b>
終点:高 松	_

## 予讃線特急しおかぜ・いしづちにおける車掌集札の見直しについて【試行】

## 6. 特急列車停車及び集札一覧(2023年3月18日一部改正)

【凡例】○:停車(駅集札) ●:停車(車掌集札) S:始発駅 ↑または↓:通過 =:運転なし

【儿例】(	ノ・停里	(駅集札	.) •	:伊卑(	, 卑字集和	L) 5.	始発駅	一また	:は↓:i	田道 =	:連転な	よし						
下り				1M	3M	5M	7M	9M	11M	13M	15M	17M	19M	21M	23M	25M	27M	29M
1. 0	1091M	1041M	1043M	1001M	1003M	1005M	1007M	1009M	1011M	1013M	1015M	1017M	1019M	1021M	1023M	1025M	1027M	1029M
高松	=	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
坂出	=	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇多津	=	$\downarrow$	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	•	•
丸亀	=	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多度津	=	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
詫間	=	•	•	0	•	$\downarrow$	<b>1</b>	$\downarrow$	↓	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	↓	<b>\</b>	•	•	•	•
高瀬	=	•	•	↓	<b>1</b>	$\downarrow$	<b></b>	$\downarrow$	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b> </b>	<b>1</b>	<b>\</b>	•	•	•	•
観音寺	=	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川之江	=	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	•	•	•
伊予三島	=	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	•	•
新居浜	S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予西条	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•
壬生川	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	•	•	=
今治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=
伊予北条	•	0	0	0	1	Ţ	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	0	0	0	•	•	•	•	•	=
松山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=

		4M	6M	8M	10M	12M	14M	16M	18M	20M	22M	24M	26M	28M	30M				
上り	2M	1004M	1006M	1008M	1010M	1012M	1014M	1016M	1018M	1020M	1022M	1024M	1026M	1028M	1030M	1042M	1044M	1046M	1092M
高松	=	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=	0
坂出	=	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=	0
宇多津	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	1	1	=	0
丸亀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=	0
多度津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=	0
詫間	•	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	•	•	1	=	0
高瀬	•	•	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	•	•	1	=	•
観音寺	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=	0
川之江	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	•	•	=	•
伊予三島	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	•	=	0
新居浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予西条	S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=
壬生川	=	•	•	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	•	•	•	•	=
今治	=	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=
伊予北条	=	•	•	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	•	•	•	•	=
松山	=	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	=